

令和5年度 上半期

西原村工業用水道事業
業務状況説明書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

西原村工業用水道事業

1 令和5年度上半期の状況

(1) 事業の概要

ア 業務

本年度の上半期の業務状況は、給水箇所数においては7事業所8ヶ所であり前年度末からの増減はありません。前年度同期と比較してみると、配水量及び給水量が減少しています。各企業毎の契約水量と上半期の給水量においては、4月に契約水量の変更が1事業所(710m³⇒600m³)あり、全体での契約日量が946m³から836m³に減少しました。これが配水及び給水量の減少の要因となっています。今後も各企業への給水量について注視していきます。

また、既存鳥子工業団地内の企業より設備増強による契約水量増の話もあり、現在の配水能力を上回る必要水量が見込まれ、新たな水源の含有等を調査する電気探査を行うことにしています。

区 分	年度	令和5年度 上半期	令和4年度 上半期	比 較	
				増 減	増減率
給水箇所数		8カ所	8カ所	—	—
上半期配水量		122,845 m ³	146,562 m ³	△ 23,717 m ³	△ 16.18 %
上半期給水量		115,229 m ³	140,944 m ³	△ 25,715 m ³	△ 18.24 %
月平均給水量		19,204 m ³	23,490 m ³	△ 4,286 m ³	△ 18.25 %
日平均給水量		640 m ³	783 m ³	△ 143 m ³	△ 18.26 %
上半期有収率		93.80 %	96.17 %	—	△ 2.37

※月平均給水量は、上半期給水量を6で除したものの。日平均給水量は、月平均給水量を30で除したものの。

イ 建設改良事業

令和5年度の当初予算において、建設改良事業では鳥子地区における新規工業団地の造成事業に伴い、造成予定地への既存鳥子工業団地から工業用水を配水するため、距離約960m、口径Φ150mmにおける本管布設のための工事費85,800千円を計上しました。

なお、工事の発注については上半期では未契約であり、発注等は企画商工課が実施する造成事業の進捗に併せることとしていますが、経産省における補助金制度の動向もあり、情報収集を行っているところです。

(2) 経理の状況（税込）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。なお、6月議会定例会において、補正予算（第1号）が可決されました。

ア 収益的収入及び支出（9月30日現在）

（単位：千円）

収 入				支 出			
区 分	予算現額	執行額	執行率	区 分	予算現額	執行額	執行率
事業収益	27,856	11,969	42.97 %	事業費用	27,856	6,764	24.28 %
営業収益	17,093	7,727	45.21 %	営業費用	24,029	6,764	28.15 %
営業外収益	10,762	4,241	39.41 %	営業外費用	725	0	0.00 %
特別利益	1	0	0.00 %	特別損失	1	0	0.00 %
				予備費	3,101	0	0.00 %

※上記については、端数処理により必ずしも合計額と一致しない場合があります。

※固定資産減価償却費については、上半期分には計上していない。

イ 資本的収入及び支出（9月30日現在）

（単位：千円）

収 入				支 出			
区 分	予算現額	執行額	執行率	区 分	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	70,000	0	—	資本的支出	85,800	0	0.00 %
企業債	70,000	0	—	建設改良費	85,800	0	0.00 %
工事負担金	0	0	—	固定資産	0	0	—
補助金	0	0	—	企業債償還金	0	0	—
負担金	0	0	—				

※上記については、端数処理により必ずしも合計額と一致しない場合があります。

2 令和4年度決算の状況（前年度事業）

(1) 事業の概要

ア 業務

令和4年度では、給水状況について前年度と同様の7事業所8ヶ所に給水を行いました。年度途中での契約水量の変更はありませんでしたが、1事業所において12月から3月にかけては、上半期より月5,000m³ほど少ない給水量となりました。契約水量としては、令和4年度は1日当たり946m³（年：345,290m³）で運営を行いました。年間有収水量は258,234m³となり、前年度と比較して10.95%の減となりました。有収率については96.64%となり、年々改善傾向となっています。

収益的収入については、事業収益27,935千円(税込)となり、支出においては事業費が15,256千円(税込)、当期純利益12,162千円、当年度剰余金65,775千円となっています。

区 分	年度	令和4年度	令和3年度	比 較	
				増 減	増減率
給 水 箇 所 数		8 カ所	8 カ所	—	—
年間総配水量		267,199 m ³	301,256 m ³	△ 34,057 m ³	△ 11.31 %
年間総有収水量		258,234 m ³	289,974 m ³	△ 31,740 m ³	△ 10.95 %
年間有収率		96.64 %	96.26 %	—	0.39

イ 建設改良事業

西原村工業用水道事業の事業全体として、令和4年度では鳥子地区新工業団地の造成事業に伴い、造成予定地への既存鳥子工業団地から工業用水を配水するための配水本管布設測量設計業務委託を行いました。これについては、令和5年度中における管布設工事着工を見込んでいます。

その他の施設等については、漏水や大きなトラブルも発生せず無事に事業が行えました。西原村中央簡易水道事業と併用した中央監視システムにより、工業用水道事業施設の稼働状況も明確に把握出来ており、安定供給に努めることができました。

今後は、工業用水道施設の老朽化した配水管及び施設の耐震化や、新規工業団地造成及び既存企業における契約水量増の要望対応に向けた、配水能力増強のための施設整備を行うことで、西原村の産業活動の基盤となる工業用水の安定供給の確保を図る必要があります。

ウ 工事等の状況

当期における主な工事等は、以下のとおりとなっています（単位：円）

工 事 等 名	金額（契約額）
新工業団地工業用水道配水管布設測量設計業務委託	5,686,000

(2) 経理の状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

事業収益が、26,372,578円（税込金額：27,935,198円）で、前年度対比4.4%の減となりました。主な要因としては、災害共済金減に伴う営業外収益（雑収益）の減によるものです。事業費用では、14,210,734円（税込金額：15,256,445円）で、前年度対比11.2%の減となり、主な要因としては人事異動に伴う人件費の減によるものです。

この結果、12,161,844円の純利益となり、年度末利益剰余金合計が116,470,762円となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は、0円で、支出が5,169,091円（税込金額：5,686,000円）となりました。

なお資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5,686,000円は、建設改良費積立金5,169,091円、当年度分損益勘定留保資金516,909円での補填を行いました。

収益的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
事業収益	27,935	29,227	95.58 %	事業費用	15,256	17,190	88.75 %
営業収益	17,117	16,593	103.16 %	営業費用	14,530	16,497	88.08 %
営業外収益	10,818	12,634	85.63 %	営業外費用	726	693	104.76 %
特別利益	0	0	—	特別損失	0	0	—
				予備費	0	0	—

資本的収入及び支出

（単位：千円）

収 入				支 出			
区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減
資本的収入	0	0	—	資本的支出	5,686	2,420	234.96 %
企業債	0	0	—	建設改良費	5,686	2,420	234.96 %
工事負担金	0	0	—	固定資産	0	0	—
補助金	0	0	—	企業債償還金	0	0	—
負担金	0	0	—				

(3) 企業債及び一時借入金

ア 企業債

(単位：円)

	前年度末残高	当期実績		3月31日現在
		借入金	償還額	
企業債現在高	0	0	0	0

イ 一時借入金
該当なし

ウ 固定資産

(単位：円)

	令和4年度末現在高
土地	10,376,180
建物	10,753,213
構築物	150,054,219
機械及び装置	46,285,285
その他	5,169,091
無形固定資産	0
計	222,637,988